

デイリージーザスニュース #053

イエスのガリラヤにおける偉大な宣教

イエスはガリラヤで宣教を始める

イエスは4人の重要な弟子を召して、フルタイムで従うように命じる

ルカ5.1-11 (並行テキスト : マタイ4.18-22、マルコ1.16-20)

=====

1 ^Lある日、イエスがゲネサレト湖 (ガリラヤ湖) のほとりに立っておられると、人々がイエスの周りに群がり、神の言葉に耳を傾けていました。 2 彼は漁師たちが岸に残した二艘の船を見た。 ^{MT}二人の兄弟、ペテロと呼ばれたシモンとその兄弟アンデレ^Lが網を洗っていました。

、シモンの所有する舟に乗り、岸から少し漕ぎ出すように頼み、それから座って、舟の中から人々を教え始めました。

4. イエスは語り終えると、シモンに言われた。 *「わたしはあなたに命じる。 もう一度、深い所へ出て行って、網を下ろして魚を捕りなさい。」*

5 シモンは答えた。「先生、私たちは夜通し働きましたが、何も捕れませんでした。しかし、あなたがそうおっしゃるので、網をおろしてみます。」

6 彼らがそうすると、網が破れるほどたくさんの魚がかかった。 7 そこで、彼らはもう一方の舟に乗っている仲間に合図して、助けに来るように言った。彼らは来て、両方の舟に魚をいっぱい詰めたので、舟は沈みかけていた。

8 シモン・ペテロは、このすべてを見て、イエスの膝もとにひれ伏し、「主よ、私から離れてください。私はまったく罪深い人間です」と言った。

9 というのは、彼とその仲間は皆、捕れた魚の多さに驚いたからである。 10 シモンの仲間であったゼベダイの子ヤコブとヨハネも同様であった。 そこでイエスはシモンに言われた。

「恐れる必要はないとあなたに命じます。 ^{MT}、あなたは来て私の後について来なければなりません。 ^Lこれから ^{MT}わたしはあなたたち二人を、人間をとる漁師にする。」

11 そこで彼らは船を岸に引き上げると、すべてを後に残してイエスに従いました。

^Mそして少し先へ進むと、 ^{MT}他の二人の兄弟— ^Mゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネ—が船の中に座っていた ^{MT}は彼らの父ゼベダイと一緒に網を修繕していた。 ^M彼はすぐに彼ら呼び寄せた。 ^{MT}すぐに^M彼らは去った ^{MT}ボート^Mと 彼らの父ゼベダイは雇い人たちと一緒にそこに乗っており、彼らもイエスに従った。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = MT、マーク = M、ルーク = L、ジョン = J、使徒行伝 = A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書の書を識別します。さらに、*赤い斜体はイエスの言葉を示します。*

コンテキストダイジェスト	
位置	カペナウム近くのガリラヤ湖
時間	イエスが31歳の8月（8月）
の生涯の段階	第4段階：ガリラヤでの偉大な宣教
第10章	イエスはガリラヤで宣教を始める
セクション #053	イエスは4人の重要な弟子を召して、フルタイムで従うように命じる

今日、「の朗読はイエス」のガリラヤでの偉大な宣教の初め」の日々における5番目の大きな展開について述べています。「初め」の期間を構成する6つの出来事はそれぞれ、その後の20か月間にガリラヤで起こったすべてのことに大きな影響を与えました。たとえば、今日の出来事の重要性は明らかです。

イエスは、カペナウムで、フルタイムで従うよう4人の重要な弟子を召し、宣教活動を開始しました。このうち3人（ペテロ、アンデレ、ヨハネ）は、ユダヤで弟子を作る「最初の輝かしい週」の間にイエスを信じた最初の5人のうちの1人でした。ヤコブもすでに信者であったことは間違いありません。

4人とも信者でしたが、湖での商業漁業の共同経営を通じて家族を支え続けていました。この時点でイエスは公の宣教活動に約8か月携わっていました。ここでイエスは、最初のフルタイムの弟子たちに、家族を含むすべてを捨て、24時間365日イエスに従うように呼びかけました。

これら4人は後に12人の使徒の1人に任命されました。そのうち3人（ペテロ、ヤコブ、ヨハネ）はイエスの最も親しい仲間となり、初期の教会の発展において特に重要な役割を与えられました。ヤコブは殉教した最初の使徒となりました。ペテロとヨハネは新約聖書の形成に大きな役割を果たしました。これらの人々の召命は、イエスの全宣教活動の中で最も重要な発展の1つでした。

この召命の場面には、力強い恵みの音が響き渡っています。岸に立っている群衆に話すためにペテロの船を借りた後、イエスはペテロに、船をもっと深い水域に出して魚を捕る準備をするように指示しました。熟練した商業漁師であるペテロにとって、これはばかげた命令でした。彼らはすでにその場所で一晩中漁をしていましたが、何も捕れませんでした。日光が魚を水面から追い払ってしまうので、昼間に漁をする人は誰もいませんでした。

ペテロのプライドは、本当に彼を悩ませていました。なぜなら、彼は再び外に出て、皆の目の前で網を下ろすことで、町の愚か者のように見えてしまうと思ったからです。しかし、イエスは彼にそうするように命じました。それでペテロは、イエスと彼の耳に入る他のすべての人に、それがイエスの狂った考えであり、自分の考えではないことを確実に知らせました。 **「あなたがそう言うから...」**

ペテロと他の皆は、網が突然魚でいっぱいになり、船が水中に引きずり込まれるほどになったとき、信じられないほどショックを受けました。網にまだ魚が残っている状態で漁船が沈むのを見た人は誰もいませんでした。イエスが水中の魚さえも支配し、すべての主であることをペテロが理解したとき、イエスの知恵を疑い、権威に疑問を呈した自分の罪深さが、決壊したダムのように彼を襲いました。

ペテロは、自分のような罪深い人間には、聖なる正義のイエスと交わる権利がないことに気付きました。そこで彼は、イエスに唯一合理的なことをして、自分を見捨ててくれるよう懇願しました。彼はイエスのレベルには達していませんでした。まったく近づきませんでした。

そのとき、イエスはペテロと、彼が召した他の3人の男たちに恵みを現しました。 **「今、私はあなたたちを、人間をとる漁師にします。」** 私たちが自分の罪深さとイエスへの完全な依存に気づいたとき、イエスは私たちの中で、そして私たちを通して最もよく働くことができます。その秘密は謙虚さです。イエスが湖の魚に対する自分の力を明らかにしたことで、ペテロは自分の罪深さと、イエスと関わるにはまったく値しないことを認識する謙虚さを身に付けました。イエスの恵みが残りのすべてを成し遂げるのに必要なのはそれだけでした。

その結果は？最初の4人の専従弟子は、すべてを捨ててイエスに従いました。仕事、家族、友人、その瞬間まで大切にしていた将来の夢など、すべてをその浜辺に残し、彼らはイエス、キリスト、彼らを救う主における神の豊かさを発見する、かけがえのない旅を始めました。

応用：

あなたは、イエスに従うことを人生の使命とするためにすべてを捨てましたか？それがこの話の要点です。私たちは皆、イエスに従うとき、イエスのようになるためにすべてを捨てなければなりません。

これは肯定的な選択であり、否定的な選択ではありません。つまり、私たちが諦めようとしらないものは、イエスが私たちのために用意しておられるものに比べれば、実は非常に劣ったものなのです。イエスは、私たち一人一人と分かち合う無限の愛、喜び、平和、目的、力、そして神の豊かさをすべて持っています。イエスに従うことは、最終的にすべての良いものを得ることを意味します。それは無限の豊かさへの招待なのです。

殉教した宣教師はこう言いました。「失うことのできないものを得るために、保持できないものを私たちに与える人は愚か者ではない。」

イエスがあなたをどこへでも連れて行こうとしているのに、あなたが従うことを妨げている何かにしがみついていることが分かりますか。

あなたはそれについてどうするつもりですか？いつですか？